



## 日本土地建物(株) 初の太陽光発電事業 「小牧太陽光発電プロジェクト」売電開始について

日本土地建物株式会社（千代田区霞が関 1-4-1 代表取締役社長 吉田卓郎）は、2012年11月より、愛知県小牧市で大規模太陽光発電事業に着手していましたが、今年2月14日、設置工事が完了し、売電を開始いたしましたのでお知らせいたします。

計画は、当社所有の物流センターの屋根に出力830キロワット級の太陽光発電パネルを設置するもので、発電した電気は中部電力に全量売電いたします。年間予想発電量は93.5万kwhとなる見通しで、これは、一般家庭約270軒分の電力量となります。

### □事業の経緯

太陽光発電施設は、当社が所有するDRE小牧センターの流通施設2号棟と3号棟の屋根面に設置しました。同施設は、物流システムのリーディングカンパニーである株式会社ダイフクの土地に、当社が流通施設を建設のうえ保有賃貸しているもので、株式会社ダイフクビジネスサービスのマスターリースにより、2号棟はハウス物流サービス株式会社、3号棟には株式会社日伝にご入居いただいております。

2012年7月1日、再生可能エネルギーの全量固定価格買い取り制度（FIT）が開始され、国内の発電電力量のうち、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの比率が高まりつつあります。こうした中、当社としても創エネ事業に取り組むべく、保有物件の中から、立地・規模・構造などの諸条件において最も適した物件として、同施設を選定し、関係各社からの協力を経て着手したものです。

太陽光モジュールは国産メーカーの多結晶パネルを採用しています。また、インターネット回線を通じ、クラウドサーバーによる発電設備の遠隔監視システムにより、発電量の監視や故障の監視を行います。また発電を行っている各建物には発電量の表示システムを設置いたします。

今回の工事は、物流センターの屋根が折板屋根であることから、屋根の凸部を利用し、専用の金物で設置し、架台も必要なく比較的短期間で工事が完了しました。

### □事業の意義

#### ① 保有不動産の有効活用

当社は、成長戦略の一つとして再生可能エネルギーへの取り組みを強化する方針であり、今般の太陽光発電事業はその一環となります。また、本件事業により得たノウハウを、CREソリューションツールとしてお客様の不動産事業へのコンサルティングにも活用していきたいと考えております。

## ② 環境への配慮

再生可能エネルギーを拡大するという政府の意向もあり、再生可能エネルギーによる創エネ事業に取り組むことは、CSRの観点からも大切なことと考えております。

尚、当社はこれまでもビルへの太陽光発電設置に取り組んでおり、2013年秋に、“環境フラッグシップビル”として竣工を予定している「日土地虎ノ門ビル（港区虎ノ門）」の屋上に太陽光発電設備を設置する予定です。また、2010年に竣工した「日土地御徒町ビル（台東区台東）」では窓に、洞爺湖サミットで使用した太陽光パネルをリユースして設置しております。

## □事業概要

設置建物	愛知県小牧市小牧原4丁目 103, 111	
事業主	日本土地建物株式会社	
建物所有者	日本土地建物株式会社	
施工	NTTファシリティーズ株式会社	
事業対象	2号棟	3号棟
屋根面積	8,150 m <sup>2</sup>	3,900 m <sup>2</sup>
出力規模	489kw	345kw
年間予想発電量	約 93.5 万kwh 一般家庭約 270 世帯分	
運転開始	2013年2月14日	

## □航空写真



【お問い合わせ】  
 日本土地建物株式会社  
 経営統括部 広報室（原）  
 TEL03-3501-6906 FAX03-3506-8940